





















たいじょういけ

大城池の築造

旧大野村は地形が台地なので100haあまりの土地は日照りが続くと用水が大変不足し、困り切っていました。このうち60haあまりは井戸水を用水源としていました。水をくみ上げるのに1反25人役(10アールあたり25人必要ということ)かかっていました。1912(大正元)年にため池を造る計画がもちあがりましたが、鮎屋川の水を取水する人たちに反対され、用水を迂回するための井堰とトンネルを造るのに2年を費やしました。

水の問題も解決し、1923(大正12)年に大城池の工事を始めました。延べ人数1万9900人、総工費25万1494円を使い、5年後に完成しました。

参考：わたしたちのまち洲本「発行 洲本市教育委員会」

●ため池データ

	大城池
貯水量 (m ³)	1,047,000
堤長 (m)	148.0
堤高 (m)	30.6



築造の様子



完成を祝う式典





